

第2回
学力テスト

国語問題

第1問 次の下線部の漢字の読みをそれぞれ書きなさい。

- (1) 子供の手を握る。
- (2) 憧れの舞踏会に参加する。
- (3) 配信のチャット欄を荒らされるのは嘆かわしい。
- (4) 企画の推進に失敗し、辛酸をなめる。
- (5) 彼は大器晩成型だ。
- (6) フィールドを縦横無尽に走り回る。

第2問 次の下線部のカタカナを漢字でそれぞれ書きなさい。

- (1) この二つにはミッセツな関係がある。
- (2) 人気ゲームの勢いにビンジョウして配信をする。
- (3) 税金をオサめる。
- (4) 私のPONはマイキョにいとまがない。
- (5) 彼女のユウジュウフダンな態度は困る。
- (6) 祇園精舎の鐘の声、ショギョウムジョウの響きあり。(平家物語)

第3問 次の四字熟語の意味をそれぞれ書きなさい。

- (1) 純真無垢
- (2) 千差万別
- (3) 針小棒大
- (4) 温故知新

第4問 次のことわざの意味をそれぞれ書きなさい。

- (1) 一寸先は闇
- (2) のれんに腕押し
- (3) 虎に翼
- (4) 馬子にも衣装

第5問 次の古文単語をそれぞれ現代語訳しなさい。

- (1) いと
- (2) よしなし
- (3) わろし

第6問 次の和歌について、以下の問いにそれぞれ答えなさい。

ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川 からくれなゐに 水くくるとは

- (1) これは漫画「ちはやぶる」のタイトルの由来となった和歌である。「ちはやぶる」は本来「勢いが激しい」という意味を持つものの特に訳されることなく、主として次の「神」に掛かる役割を果たしている。このように、ある特定の言葉を導き出して和歌の調子を整える働きを持つ技法のことを何というか。
- (2) 「からくれなゐ」はある色のことを表している。この色を書きなさい。
- (3) 「くくる」とは「括り染め」と呼ばれる染め方の一つで、布の一部を糸で括ってから染めることにより、布本来がもつ白さの一部を模様として残す方法である。ここでは水の表面が「括り染め」のように色が染まっている、と表現している。この句が詠まれたと考えられる時期はいつか、春夏秋冬から一つ選びなさい。